

# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年2月22日（金）
主管学校名	山形大学附属幼稚園
P T A会長名	志賀浪 健（幼） 山口雅代（特別支援学校）

実施概要	主管校	山形大学附属幼稚園
	交流校	山形大学特別支援学校・山形大学
	実施活動名	もっと もっと なかよくなるう！（交流活動・バザー参加&メンテナンス）
	実施日時	平成30年6月27・28・29日（交流） 11月7・8・9日（交流） 11月22日（バザー） 平成31年1月29日（交流）中止 2月4日（メンテナンス）中止
	実施場所	山形大学附属幼稚園、山形大学附属特別支援学校、山形大学小白川キャンパス（バザー開催場所）
	実施目的	本園の園児、保護者と職員が数年にわたり築いてきた特別支援学校の児童、生徒、職員との交流をさらに深め、理解、協力することで互いに喜びを分かち合う。
実施内容	実施内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、特別支援学校の小学部児童と本園の園児との遊びを通じた交流</li> <li>2、特別支援学校と本園の作品の展示交流</li> <li>3、本園の園児、保護者の特別支援学校高等部製品バザーへの参加</li> <li>4、これまで購入した製品のメンテナンス、修繕、リメイク</li> <li>5、作品の製作依頼や製品開発</li> </ol>
	実施方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、本園と特別支援学校を園児、児童が互いに訪問し、初夏と秋、冬の3回（7回間）、水遊びやそりすべりなどの季節の遊びを通しながら交流を図る。</li> <li>2、親しくなった友達のよさやがんばりを感じられるよう、新たな取り組みとして互いの製作作品を展示し合い、さらに交流を深める。</li> <li>3、園児とその保護者がバザーに参加し、高等部の生徒の製品を購入する。</li> <li>4、特別支援学校の高等部の生徒が来園し、今までに購入した製品のメンテナンス、園児や職員の要望をもとに、新しい製品の開発やリメイクを行う。</li> </ol>
参加人数	幼稚園園児、保護者、特別支援学校児童、生徒、職員 役200名	

報告事項	内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、特別支援学校小学部低学年が本園を訪問し、園児と初夏・秋・冬に遊びを通して交流を図る。</li> <li>2、特別支援学校に本園の園児が制作した作品を展示し作品を通してより親しみをもてるようにした。</li> <li>3、特別支援高等部主催のバザーに、本園の年中児がバスを利用し参加、保護者も各自参加した。園児は各自100円を持参し、特別支援高等部の生徒が手作りの商品を購入した。</li> <li>4、園で子供達が利用するベンチ、多目的ラックなどの購入</li> <li>5、特別支援学校から購入していた製品のメンテナンス、修繕しリメイクして再利用する。</li> <li>6、園児が使いやすいサイズの製品を特別支援学校と共に開発、製作を依頼する。</li> </ol>
	結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、全7回の計画だったが、冬の交流がインフルエンザの為中止になってしまった。しかし、初夏・秋の交流では、3日間連続で行ったので回数を重ねるごとに交流が深まる様子がみられた。</li> <li>2、友達が、がんばって一生懸命作った作品を展示し、作品を通してお互いを理解し、親しみをもてるようになった。</li> <li>3、園児は100円（10円玉10枚）を各自の財布を首にかけ買い物を楽しんだ。特別支援学校高等部の生徒達の商品も子ども達に合わせた価格設定で、園児達が使いやすいマスクやお便利セット、可愛いらしいアクリルタワシなど、安全で丁寧な小物を沢山準備していただき、また買い物のやりとりも園児に合わせた対応でとても有意義な交流となった。</li> <li>5、特別支援学校高等部の生徒が本園に来園し、子ども達の前でメンテナンスしてもらおう予定だったが、インフルエンザの為、特別支援学校へ製品を搬入してもらい修繕をしていただいた。</li> <li>6、園児に合わせて作っていただいているので使い勝手がよく、安全面に優れているため今後も続けていきたい。</li> </ol>
	所感	今年度もカンガルーシップ活動助成金事業により、特別支援学校と園児達が交流し、互いを認め合い存在意義を高めることにつながったと思います。 このように多岐にわたり大変有意義な活動ができたことに感謝申し上げます。 本当にありがとうございました。

添付書類

実施報告書掲載可



# カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成31年2月22日(金)
学校名	山形大学附属幼稚園
学年	3・4・5歳児

## ◎交流活動について

- ・また一緒にあそびたい。
- ・カエル捕まえてもらって嬉しかった。
- ・あしたも遊ぶ約束したんだ。
- ・道具を運ぶのを手伝ってくれて優しかったよ。
- ・砂遊び楽しかった  
(展示交流)
- ・〇〇ちゃん作ったのすごい。
- ・一緒に遊んだ人のだ、また遊びたいな。
- ・どうやって作ったのだろう。私も作りたい。
- ・お料理、おいしそうだね。作ってみたいな。

## ◎バザーについて

- ・これ(タワシ)かわいいでしょ。
- ・私のと、ママの分二つ買ったの。
- ・一人でお買い物できたのすごいでしょ。
- ・バスに乗って来たのが楽しかった。
- ・また来たい。
- ・かわいいから宝物にする。
- ・ドキドキしたけど楽しかった。
- ・ほしい物がいっぱいあるから何を買うか迷った。
- ・お店屋さんの人が優しかった。
- ・ママにプレゼントするの。ママ喜ぶかな。

## ◎修繕・リメイクについて

- ・えー、すごい直ってる。
- ・ガタガタしなくなったね。
- ・なくなったと思ったら新しくなってかえってきた。
- ・また使えるね。うれしいな。
- ・直してくれてありがとう。大事にするね。

## カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日 平成31年2月22日(金)

学校名 山形大学附属幼稚園

### ◎交流活動について

- ・3日間連続の交流なので、日ごとに子ども達の打ち解けていく様子がわかった。
- ・砂場ではお店屋さんごっこ、おままごとなどを楽しんでいた。
- ・思いがうまく伝わらないこともあったが、子ども達同士で解決しようとする姿があった。
- ・最後の交流では、特別支援学校の子供達が乗るバスまで見送る園児が多く別れを惜しんでいた。
- ・交流会の後に、園児、児童の作品を互いの校園に展示したことで、一緒に遊んだ友達の作品をととても楽しそうに見ていた。心の交流につながった。
- ・子ども達の作品や交流活動の様子の写真を展示紹介したことで保護者も交流活動の様子を知ることができた。

### ◎バザーについて

- ・園児の目線で商品が並べられており、価格設定も10円からと低価格の設定だった為、買い物がしやすくなっていた。
- ・「いらっしゃいませ」「お会計はこちらです」など積極的に声をかけてもらい園児達は買い物を楽しんでいた。
- ・実際のお金を使った買い物が初めての園児達も多く、自分の財布から自分で支払うという経験ができ喜んでいました。
- ・すべて手作りの商品なので、一つ一つとても丁寧に作られていて、使いやすく工夫されている商品がたくさんあった。
- ・商品の説明も園児たちにわかりやすくしてくださり、園児向けにカラフルで可愛い小物が多かった。
- ・移動式多目的ラックを購入しました。丈夫で完成度の高い製品を低価格で購入することができ、家で重宝しています。また来年も訪れたいです。
- ・商品一つ一つに心がこもっていて大変丁寧に作られていた。
- ・買い物袋も英字新聞を利用するなど工夫されていておしゃれだった。
- ・子ども達が買い物をする様子がとても微笑ましかったです。バザーを通して特別支援学校の生徒達と交流する良い機会となった。
- ・レターセットが和紙で作られ、アクリルたわしがリンゴの形やハートなどデザインや素材も凝っていて素敵でした。
- ・子どもが嬉しそうにプレゼントしてくれました。このような機会をつくってくださりありがとうございます。

### ◎メンテナンス・製品開発及びリメイク

- ・今年は残念ながらメンテナンス作業を子ども達に見せることができなかったが、後日届いた製品を見て丁寧に修繕してあることに感動していた。
- ・壊れて使えなくなったベンチやラックがリメイクされ、形をかえて再利用することで物を大切にすることが学べる良い機会になった。
- ・園児が使用するのサイズや重さ、安全面が考慮されていて使いやすい。
- ・壊れたら捨てるのではなく、直して使うことやアイデア次第で別の物にリメイクするなど物を長く大事に使っていくことを学ぶいい機会になった。
- ・修繕されたベンチにととても感動した様子でした。物を大切にできる心が芽生えるきっかけになりました。